

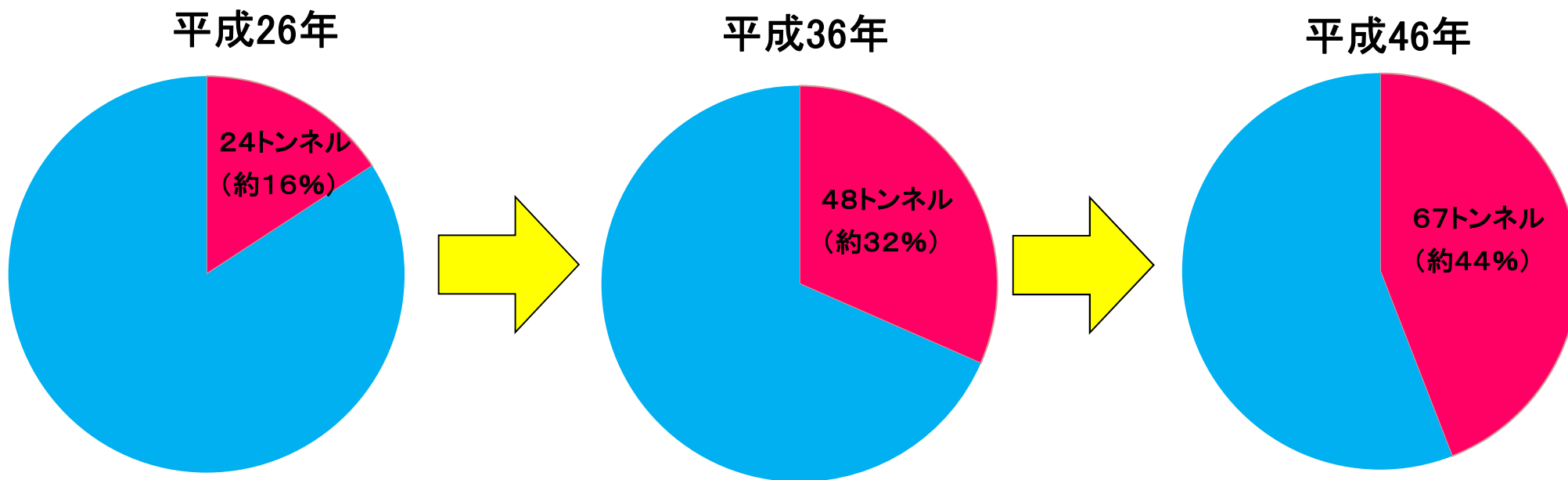
道路インフラの維持管理に係る現状と課題

平成26年9月18日

和歌山県 県土整備部 道路保全課
予防保全班長 川島和規

和歌山県管理のトンネルは152本。このうち、建設後50年を経過したトンネルの割合は、10年後には32%、20年後には44%へ増加

◇ 建設後50年を経過するトンネル数



H26.4.1現在

①国道371号

紀見トンネル(昭和44年完成)

延長1454m 幅員9m

側壁コンクリートの一部が剥落



H25. 1. 3 撮影

②県道上初湯川皆瀬線

法事トンネル(昭和30年完成)

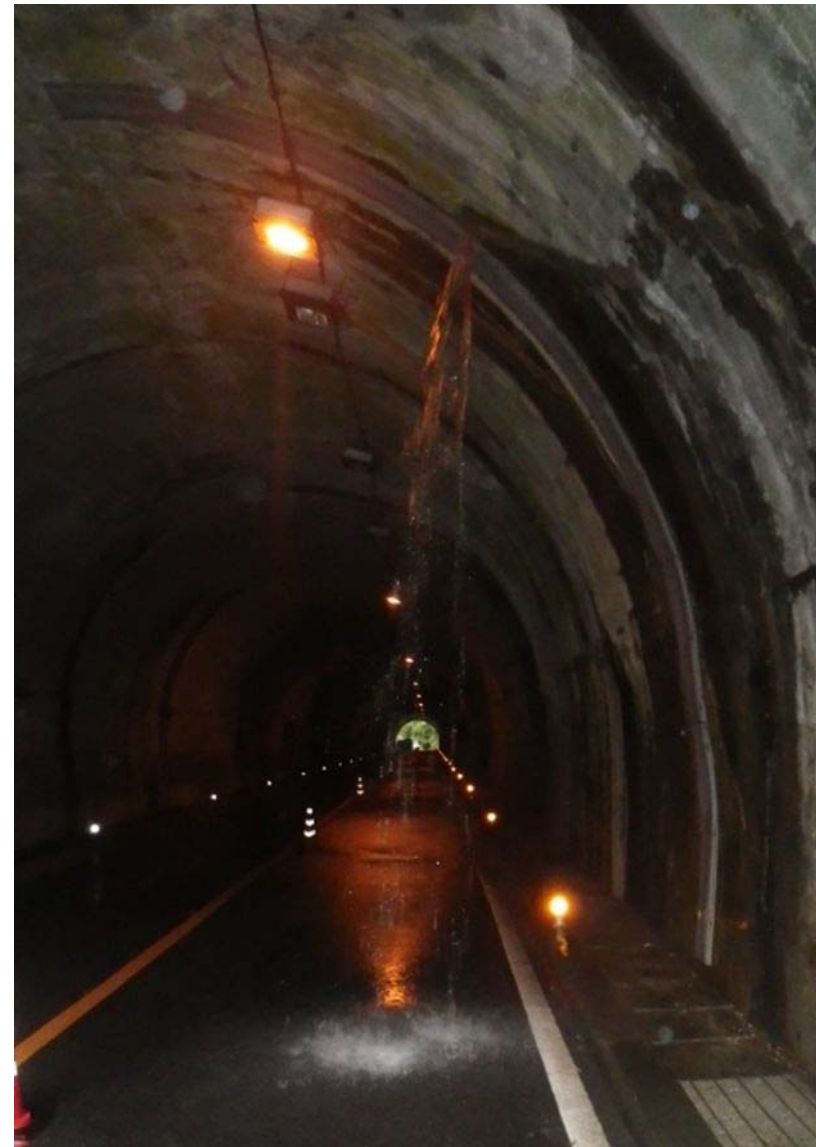
延長271m 幅員4.2m

側壁コンクリートの一部が前側に張り出し



H26. 2. 13 撮影

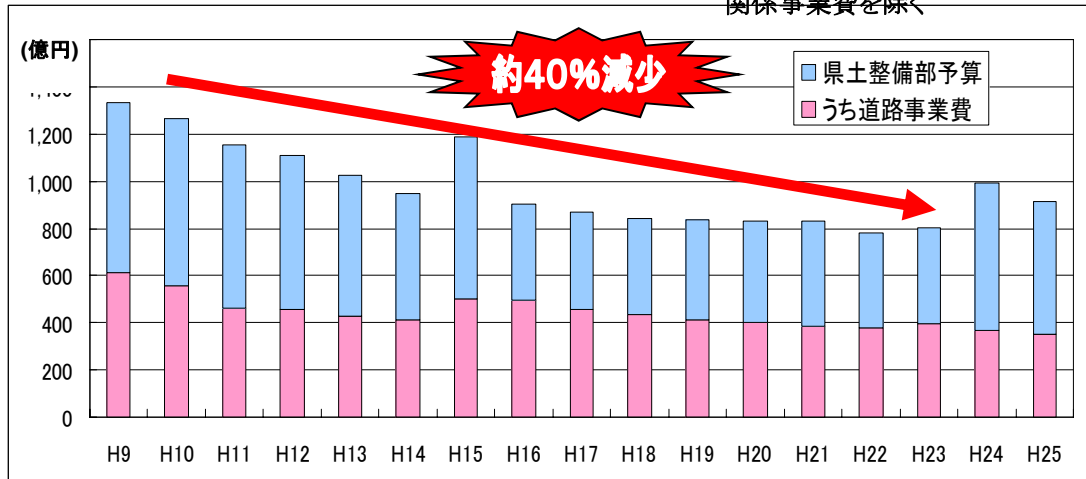
県道 御坊美山線
株井トンネル(昭和43年完成)
延長215m 幅員7.5m
変状:漏水
対策工:導水工設置(H25年度)



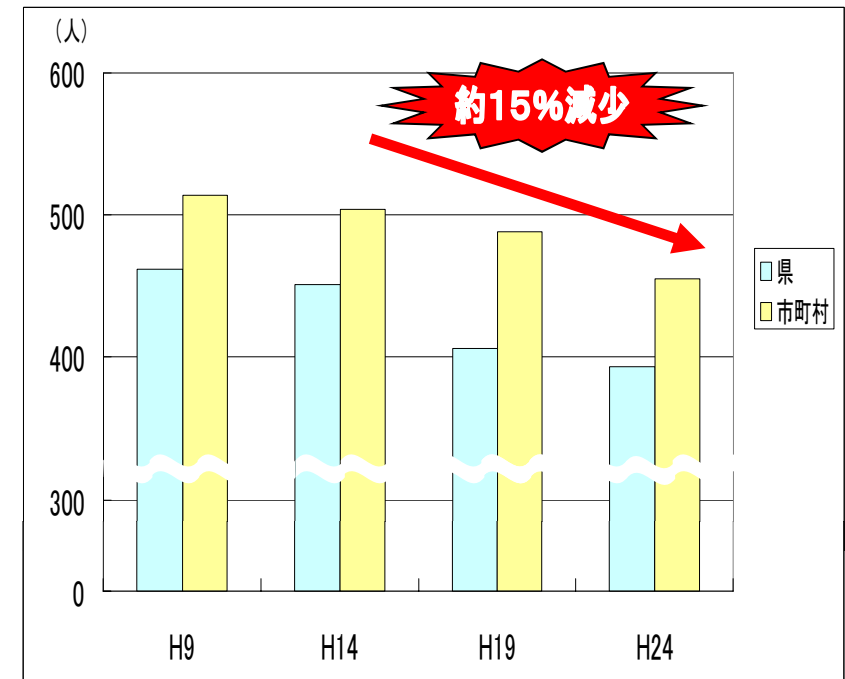
道路インフラの老朽化対策の課題 ①

- 和歌山県の県土整備部予算は、平成9年度と比較して約40%減少。
- 県の道路単独事業費は平成9年度と比較して約70%減少しているが、維持管理費は横ばいに推移し、予算に占める割合が上昇している。
- 県内の土木技術職員数はここ10年間で約15%減少。

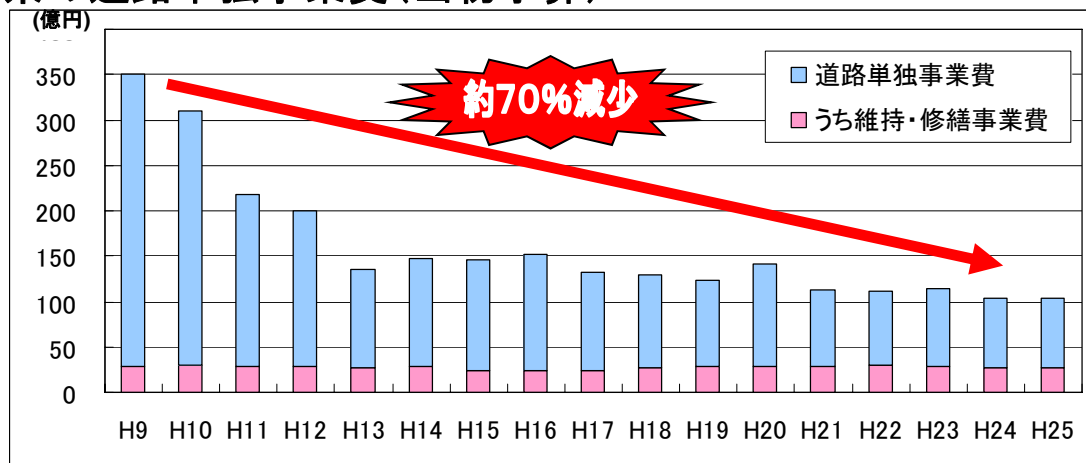
・県土整備部予算の推移(当初予算) ※H15年度以降は農林水産関係事業費を除く



・土木技術職員数の推移



・県の道路単独事業費(当初予算)



和歌山県トンネル維持管理計画を平成25年度に策定

<概要>

- ・5年毎に点検、診断を実施
- ・健全度を5段階評価(3A、2A、A、B、S)
(3A:直ちに対策、2A:早急に対策、A:重点的監視し計画的対策、B:監視、S:健全)

[H5道路トンネル維持管理便覧を準用]

- ・健全度ランクが3Aとならないように2Aの段階で適切に対策を実施
 - ・健全度ランクの低いトンネルより対策を実施。
同一健全度ランク場合、交通量・緊急輸送道路等を勘案し、順位付けする
- ※平成26年度に道路トンネル点検要領を策定し、健全度の評価を変更
(健全、予防保全段階、早期措置段階、緊急措置段階)

○平成25年度に、144本のトンネルを点検を実施。

点検結果で早急な対策が必要とされた33本について、今年度より2ヶ年かけて対策を実施する。

○和歌山県道路メンテナンス協議会を設立 (平成26年6月)

○技術職員が不足している市町村への技術支援のために県土整備部に「検査・技術支援課」を平成25年度に設置し、市町村からのインフラ点検の受託や人材バンクからの技術者紹介を実施

和歌山県「検査・技術支援」

市町村管理の道路ストックの現状

- 市町村管理の道路延長(10,507km)は長く
全体的に管理が不十分
- 施設の老朽化が進行
- 市町村の技術職員の減少



県が市町村の道路ストックの点検業務を受託
修繕計画や維持管理計画等策定の技術支援
受託対象:トンネル、舗装、道路附属物、橋梁、
法面・擁壁 等

わかやま技術支援人材バンク

- 退職技術者情報を登録する人材バンクを設置
- 大規模災害時の復旧事業や平常時における市町村の土木事業等の専門的な行政

